

第二種衛生管理者試験解答解説(平成 27 年 4 月公表)

問 1 (2)

- (1) 運送業は「第一種」衛生管理者免を有する者のうちから選任しなければならない。
- (2) 正しい
- (3) 衛生管理者を2人以上選任する場合は「1人」まで専属でない労働衛生コンサルタントを選任することができる。
- (4) 「深夜業」は専任が必要な有害業務に含まれない。
- (5) 常時使用労働者数が 1000 人を超える事業所では「1人」専任の衛生管理者としなければならない。

問 2 (3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 本枝の内容は「産業医」に関する記載である。

衛生管理者の役割は次号場を毎週 1 回巡視し、労働者の危険又は健康障害の防止措置等の技術的事項を担うことである。

- (4) 正しい
- (5) 正しい

問 3 (4)

- (1) 衛生委員会は業種に限らず常時 50 人以上の労働者を使用する事業場において設置しなければならない。
- (2) 安全委員会の設置を必要とする事業場では、衛生委員会と安全委員会に代えて衛生委員会を設置しなければならない。
- (3) 事業場で選任している衛生管理者は、すべてではなく、少なくとも 1 人を衛生委員会の委員としなければならない。
- (4) 正しい
- (5) 衛生委員会はこの委員として指名する産業医は、専属に限定する定めはない。

平成 25 年 4 月公表問題 問 22 と同じ

問 4 (2)

- (1)該当する
- (2)血圧の測定は、原則として省略できない。
- (3)該当する
- (4)該当する
- (5)該当する

平成 26 年 4 月公表問題 問 23 の変形

問 5 (5)

- (1)違反していない
- (2)違反していない
- (3)違反していない
- (4)違反していない
- (5)休憩室は炊事従業員「専用」を設ける必要がある。

平成 26 年 10 月公表問題 問 25 の変形

問 6 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)事業者は、面接指導の結果に基づく医師の意見聴取を「遅滞なく」行わなければならない。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 24 の変形

問 7 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)旅館業においては「作業手順に関する事」は省略することはできない。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 6 の変形

問 8(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 加湿装置は原則として「1 か月」以内ごとに 1 回の点検が必要である。
- (5) 正しい

問 9 (2)

- (1) 誤り
- (2) 正しい
- (3) 誤り
- (4) 誤り
- (5) 誤り

平成 25 年 10 月公表問題 問 27 の変形

問 10 (4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 労使協定による時間外・休日労働(36 協定)は、原則として年少者(満 18 歳未満者)は適用されない。
- (5) 正しい

問 11(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 室内の必要換気量は
$$\frac{\text{室内にいる人が 1 時間に呼出する二酸化炭素量}(\text{m}^3/\text{h})}{(\text{室内二酸化炭素基準濃度}(\%)) - (\text{外気の二酸化炭素濃度}(\%))}$$
で計算される。
- (5) 正しい

問 12(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) WBGTは「自然湿球温度」「黒球温度」「乾球温度」から算出される。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 4 月公表問題 問 12 の変形

問 13(1)

- (1) 眼と光源を結ぶ線と視線とで作る角度が 30° 「以上」になるとよい。
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 13 と同じ問題

問 14(3)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 300 ルクス「以上」が適切である。
- (4) 正しい
- (5) 正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 28 の変形

問 15(4)

- (1) 正しい
- (2) 正しい
- (3) 正しい
- (4) 「喫煙」→「非喫煙」ではなく「非喫煙」→「喫煙」へ向かう気流の風速を 0.2m/s 「以上」とする措置が必要である。
- (5) 正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 29 の変形

問 16 (1)

- (1)正しい 出題内容を「負傷休業日数率」「病休度数率」等と混同しないこと
- (2)誤り
- (3)誤り
- (4)誤り
- (5)誤り

平成 23 年 10 月公表問題 問 31 と同じ問題

問 17 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)止血帯には細いゴム紐ではなく「三角巾」「手ぬぐい」「ネクタイ」等を用い 5 cm 幅で二重に回し半結びにして止血する。
- (5)正しい

平成 25 年 10 月公表問題 問 34 の変形

問 18 (2)

- (1)水泡ができるのはⅡ度である。
- (2)正しい
- (3)水泡は破いてはいけない。
- (4)中和剤は用いずに、直に水で洗浄する。
- (5)皮膚がはがれてしまうおそれがあるので、そのまま冷やす。

平成 26 年 10 月公表問題 問 32 の変形

問 19 (4)

- (1)ノロウィルスは「食品中」ではなく「十二指腸から小腸上部」で増殖する。
- (2)ほとんどの細菌やウィルスは加熱によって死滅する。
- (3)摂取後、1～2 日誤に発症する。
- (4)正しい
- (5)症状は「嘔吐」や「下痢」が特徴である。

平成 25 年 10 月公表問題 問 32 の変形

問 20 (3)

- (1)気道を確認するには傷病者の額をおさえながら、指先を傷病者の顎の先端に当てて持ち上げる。
- (2)呼吸の有無の確認は「10 秒以内」に行う。
- (3)正しい
- (4)1 分間に少なくとも 100 回のテンポで行う。
- (5)電気ショックを行った後や不要と判断された時には、音声メッセージに従い、胸骨圧迫を開始し心肺蘇生を続ける

平成 26 年 4 月公表問題 問 34 の変形

[労働生理]

問 21 (4)

- (1)呼吸運動は主として「呼吸筋(肋間筋)」と「横隔膜」の協調運動によって胸郭内容積を周期的に増減させて行われる。
- (2)記述内容は「外呼吸」である。
- (3)成人の呼吸数は食事、入浴や発熱によって「増加」する。
- (4)正しい
- (5)血液中に二酸化炭素が増加してくると、呼吸中枢が刺激されて呼吸数は「増加」する。

平成 26 年 10 月公表問題 問 35 の変形

問 22 (3)

- (1)誤り
- (2)誤り
- (3)正しい
- (4)誤り
- (5)誤り

平成 24 年 10 月公表問題 問 37 の変形

問 23 (4)

- (1)正しい
- (2)正しい
- (3)正しい
- (4)カの腎静脈は、腎臓で尿素窒素等をろ過した血液が流れており、エの肝静脈はろ過されていない尿窒素等老廃物が含まれる静脈血である。
- (5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 36 の変形

問 24 (1)

- (1)正しい
- (2)誤り
- (3)誤り
- (4)誤り
- (5)誤り

問 25 (3)

- (1)血中の老廃物は「糸球体」からボウマン嚢に濾し出される。
- (2)血中の蛋白質は分子構造が大きいので、ボウマン嚢には濾し出されない。
- (3)正しい
- (4)原尿中に濾し出された電解質の多くは、「尿細管」から血液中に再吸収される。
- (5)原尿中に濾し出された水分の大部分は、尿細管から血液中に再吸収される。

平成 23 年 10 月公表問題 問 39 の変形

問 26 (4)

(1)正しい

(2)正しい

(3)正しい

(4)血液の容積に対する「赤血球」の相対的容積をヘマトクリットという。

(5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 40 の変形

問 27(2)

(1)正しい

(2)眼は「水晶体」の厚さを変えることにより焦点距離を調整する。

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 24 年 10 月公表問題 問 41 の変形

問 28 (1)

(1)コルチゾールの内分泌器官は「副腎皮質」で、血糖量を「増加」させる。

(2)正しい

(3)正しい

(4)正しい

(5)正しい

平成 26 年 10 月公表問題 問 42 と同じ問題

問 29 (5)

- (1)筋肉中のグリコーゲンが酸素が十分に供給されると「水」と「二酸化炭素」になる。
- (2)筋肉の縮む速さが「適当なとき」に仕事の効率は大きい。
- (3)筋線維が太くなることにより筋力が増強する。
- (4)人が直立している時は「等尺性」収縮が生じている。
- (5)正しい

問 30 (2)

- (1)正しい
- (2)基礎代謝量は「生命の維持に最小限必要」なエネルギー消費量をいう。
- (3)正しい
- (4)正しい
- (5)正しい